

面接で「あがる」の原因と克服方法

- 「緊張」と「あがる」の違いはなにか。
- 「緊張」はある程度当然でよい結果につながるが、その逆が・・・
- 「あがる」ことの問題点は何か？
- 「あがる」5大原因
 - 1) 気が弱い
 - 2) 重要「清水の舞台」と思い込み過ぎる
 - 3) 準備不足で自信がない。引き出しがない。
 - 4) 丸暗記方式
 - 5) 失敗を恐れすぎる
- あなたは、どの原因が当てはまるとおもいますか
- では、1)～5)をどう克服して行くのでしょうか
- 頭で分かる「理解する」と「実行できる」ことは違います。
- そこでCOBU塾のコーチ付きのトレーニングは欠かせません。

面接で「第一印象」を高める方法

- 「第一印象」は6秒で決まる
- 「第一印象」は視覚6割、聴覚3割、言語1割。
- 「視覚の要素」とは何か？
- 「聴覚の要素」とは何か？
- 「言語の要素」とは何か？
- 自分でどの要素が合格でどれが不合格か自覚していますか
- 一番の方法は自分の姿を「自分で見ること」と
コーチからの指摘を素直に受け入れ改善する努力です。
- 面接では「第一印象」と「確定印象」で決まると言っても
過言ではありません。
- そこでCOBU塾コーチ付きのトレーニングは欠かせません。

転職理由、志望動機を追求する

- 表面的な浅い、深く考えていないものは響かない
- 転職理由でWILLが先、MUSTは後（なくてもよい）
- WILLとは、「今の会社でできなく転職先で実現したい」
- CAN（転職先で貢献できること）も欠かせない
- WILLとCANを説得力のある形で話さないと伝わらない
しかし、これは余程のひとでないと出来ない技、そこでCOBU塾の支援が必要
- まずは結論を3ワードで表現する。相手に「何か？」と関心を持たせてから、説明を行う。ここが皆出来ていない。
- 例えば、「私の夢が実現できるからです」が結論
「それは、学生時代に・・・これがラストチャンスと
考えて決意しました。」が説明。
- 転職理由があり、志望動機が後から来る。
志望動機で「応募先の会社を研究して、素晴らしいから」だけは失敗な典型的なパターン。自分が「入社して何ができるか」を
- 以上にCOBU塾転職支援とトレーニングが欠かせません。

転職理由、志望動機を追求する

●事例： 介護業界（営業）から鉄道会社の駅スタッフ

転職理由：

結論「今までの介護業界での経験を駅と言う舞台で生かしたい」

- 説明
- 1) 高齢者、介護必要者、障害者の求めるものを知っています。
 - 2) 高齢化社会に向けて鉄道、駅ではハード面だけではなくソフト面の支援が欠かせない。これからは直接駅職員の介助補助のみならずコミュニケーション面での充実が必要
 - 3) 鉄道（駅）で高齢者、障害者等のサービスを一生の仕事にしたい
今回がラストチャンスとの思いで決意した。

志望理由：

- 1) 私は若い頃から鉄道にあこがれ、特に小田急への思いが強い
- 2) 小田急はこの分野（高齢、障害者対応）で最も積極的に取り組んでいる会社。これからはハードからソフトの充実が重要。
- 3) 駅の現場から、高齢者、障害者支援のソフト面から支える人材になりたい。その為に経験、資格、熱意を常に高めて行きたい。
- 4) 夢は「駅で一番のサービス介護駅スタッフ、小田急で一番のサービス介護駅スタッフを目指したい。それが日本一を意味する「鉄道会社のサービス介護職員」になりたい。

その為に努力していること

- 1) 保有資格： 既存の資格。これから目指すもの
- 2) コミュニケーション： 英語、傾聴

誰にも負けない点：

- 1) 地道な努力。好きなことは「諦めなければ、必ず結果が付いて来る」
- 2) 笑顔と前向きな性格
- 3) 体力、健康

最後に： 私は11年間、介護職、介護器具と言う世界で仕事をして参りました。本当に多くの高齢者、弱者の方々にも接して来ました。その方々の気持ちを察する、支えることで本当に良い「笑顔」を見せられます。これから一人でも多くの方が私に接しられて「今日はいいい駅員さんに会えて良かった」の笑顔を作り続けたい、その初心を忘れずに何十年も小田急で働きたいと思います。